

平成27年度 吉野ヶ里町立東脊振中学校 学校評価計画

<b>1 学校教育目標</b>	<b>2 本年度の重点目標</b>
自主的に学び合う生徒の育成	① 学習の構えを徹底し、学力向上を図る。 ② いじめ防止と不登校への対応の充実など人権教育を中核に据えた生徒指導や特別支援教育の充実を図る。 ③ 小中連携による校内研究の充実を図る。 ④ 個性を伸ばす部活動の推進に努める。

<b>3 目標・評価</b>				
<b>① 学習規律の徹底と学力向上</b>				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○教職員の資質向上	学び合う授業の指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上アクションプランに基づき、「めあて」「課題解決(学び合う活動)」「まとめ・振り返り」の授業を100%実践する。</li> <li>・教育センター講座などを、1人1講座以上受講する。</li> <li>・全教職員が研究授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上アクションプランの実践状況をチェック表で毎月確認する。</li> <li>・黒板に「めあて」「まとめ」のカードを貼り、それを明確にした授業を行う。</li> <li>・学習指導案に「めあて」「課題解決」「まとめ・振り返り」を明記する。</li> </ul>
教育活動	●教育の質の向上に向けたICT活用教育の実施	ICT利活用による学習内容の理解促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板等を利用した授業づくりを行い、電子黒板の活用率が90%を上回る。</li> <li>・ICT利活用に関する職員研修を年2回以上実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子黒板の操作・活用についての全職員研修会を実施する。</li> <li>・ソフト活用スキルアップについての小規模研修会を実施し、活用力向上を図る。</li> </ul>
教育活動	●学力向上(学習規律)	基本的な学習規律の徹底指導と定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の心構えを掲示し、授業開始時等に確認する。</li> <li>・ノーチャイムを実施し、時間を意識した行動を80%の生徒が行える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の会で、学習の心構えを一斉に読みあげ、授業に真剣に取り組もうという意識をもたせる。</li> <li>・生徒会が中心となって、ノーチャイム活動に取り組む。</li> <li>・朝の放送を8時から5分間行い、登校時の時間の意識化と遅刻0を目指す。</li> </ul>
教育活動	●学力向上(学び合う活動)	思考力・判断力・表現力の育成と基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思考力・判断力・表現力を育成するために学び合う活動(グループ活動)を授業で100%行う。</li> <li>・基礎・基本の定着のために、少人数授業やTT授業を全学年で行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学び合う活動の基本スタイルを作成する。</li> <li>・思考力・判断力・表現力を高めるための課題設定の在り方について研究し、共有する。</li> <li>・効果的な少人数授業やTT授業の指導方法について、資料収集を行い、研修会に参加して力量を高める。</li> </ul>
教育活動	●学力向上(家庭学習)	家庭学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校で取り組んでいる自学ノートの提出率が90%以上になるようにする。</li> <li>・家庭学習時間1時間以上が80%以上になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の方法や内容の充実について指導し、参考となる自学ノートの掲示を行って意識化を図る。</li> <li>・家庭学習の実施状況を毎月点検し、家庭学習の習慣化を図っていく。</li> </ul>

## ② 生徒指導・特別支援教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●いじめの問題への対応	いじめの早期発見・早期対応と仲間づくりの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、生活アンケートを実施し、いじめの早期発見と対応を行う。</li> <li>・学校生活が楽しいと回答する生徒が70%以上になるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出番・承認・称賛により、生徒の自己肯定感を高める。</li> <li>・いじめへの組織的な対応体制を作り、未然防止に向けて、定期的に職員間の情報交換を行い、共通理解を図る。</li> <li>・自己肯定感と他者理解を高めるため、道徳教育の充実を図り、構成的グループエンカウンターなどの活動を実践する。</li> </ul>
教育活動	○教育相談	不登校や気になる生徒の早期発見・早期適応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、生活アンケートを実施し、気になる生徒の早期発見と相談対応を行う。</li> <li>・教育相談部会を毎月実施し、共通理解を図る。</li> <li>・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用を100%行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談部会において、不登校生徒や気になる生徒の状況把握を行い、連絡会などで職員への共通理解を図る。</li> <li>・状況に応じてスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど外部機関を交えたケース会議を実施する。</li> </ul>
教育活動	●心の教育 (人権教育)	人権意識を高め合い、自他を尊重する心情と行動力を持った集団の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全校集会等を活用し、人権意識を高める講話を行う。</li> <li>・人権学習に取り組み、人権意識を高める。</li> <li>・職員の人権・同和教育に関する意識と指導力を高めるため、校内研修を行い、校外研修に1人1回以上参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権・同和教育担当を中心に講話や集会等に取り組む。</li> <li>・生徒が協働して取り組む中で達成感を得たり問題解決力を身に付けたりすることのできる生徒会活動、人権集会、平和学習など実施する。</li> <li>・外部講師を招聘して校内研修を充実させるとともに、校外研修への参加推進を担当が集約して図る。</li> </ul>
教育活動	○特別支援教育	生徒の特性に応じた特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の支援・指導計画の作成を行い、充実に向けた見直しの検討会を年3回行う。</li> <li>・卒業後の進路を見据えた指導支援体制づくりに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象となる生徒の実態把握に努め、各学年の特別支援担当者を中心に必要な支援を検討し、生徒の指導支援を行う。</li> <li>・対象生徒の個別支援計画を5月中に作成する。</li> <li>・夏季休業中に職員研修を行い、特別支援教育について理解を深める。</li> </ul>

③ 小中連携による校内研究の充実				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	○小中連携教育	小中学校職員の協働による教育実践の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携して実践する活動の検討と実践化を図る。</li> <li>・毎月1回、定例会議を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者が連絡を密にして、連携する教育実践がスムーズに行えるようにコーディネートする。</li> <li>・小学校での中学校職員の授業を前年より増やす。</li> </ul>
教育活動	●心の教育 (道徳教育)	小中の合同研修会や相互授業参観の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中合同研修会を年3回実施し、共通理解と協働活動を推進する。</li> <li>・全職員が相互に授業を参観する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の学習指導案を小中で統一する。</li> <li>・学期に1回は、相互に授業参観できるよう時間割の調整をする。</li> </ul>
④ 個性を伸ばす部活動の推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○部活動の推進	個性を伸ばす部活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒個々の特性や特長を把握して、競技に生かす。</li> <li>・部活動運営計画の共通理解と実践を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議等の効率化を図り、顧問の部活指導時間の確保に積極的に取り組む。</li> <li>・部活動顧問者会議を年1回以上開催し、共通理解を図る。</li> </ul>
本年度の重点目標に含まれない共通評価項目				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	基礎体力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健体育の授業において、ランニングを行い、全身持久力の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニングを毎時間行い、全身持久力の向上を図る。</li> </ul>

●は共通評価項目、○は独自評価項目